

平成30年4月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
4月	4日	油流出	(大町1丁目地 内)	不明	不明 不明	排水路 青田川	<p>青田川に油が流れているとの通報を受け、市及び関係機関が現地を確認した。その結果、青田川及び青田川へ流出する南本町3丁目地内の排水路に油膜を確認したため、油吸着マット及びオイルフェンスを設置し、被害の拡大及び下流の関川への流出を防いだ。</p> <p>4/5、青田川及び排水路及に油膜がないことを確認したうえで、油吸着マットとオイルフェンスを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

平成30年5月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
5月	10日	油流出	中田原地内	個人宅	灯油 不明	道路側溝 用水路	<p>用水路に油が流れているとの通報を受け、市及び関係機関が現地を確認した。発生源を探索した結果、灯油ホームタンク撤去時に残油を流出させた事案があり、周辺の道路側溝及び用水路に油膜を確認したため、油吸着マットを設置し被害の拡大を防いだ。</p> <p>その後、道路側溝及び用水路に油膜がないことを確認したうえで、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

平成30年6月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
6月	10日	油流出	(柿崎区柿崎地 内地内)	不明	不明 不明	用水路 米山川	<p>柿崎区柿崎地内(柿崎6区)の米山川に油が浮いているとの通報があり、市及び関係機関が現地を確認した。その結果、米山川及び上流の用水路に油膜を確認した。</p> <p>被害の拡大を防ぐため、米山川の揚水機場の可動を停止させたほか、用水路の中で油が滞留している部分に油吸着マットを設置すると共に、米山川にオイルフェンスを設置した。</p> <p>6/25、米山川及び用水路に油膜がないことを確認したうえで、油吸着マットとオイルフェンスを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
6月	14日	排水の白濁	中郷区江口地内	工事現場	粘土 不明	側溝、用水路 片貝川	<p>中郷区二本木地内の用水路が白濁しているとの通報があり、市が現地を確認した。その結果、地下水採取のため掘削工事した現場において、揚水し排出した地下水に粘土が混ざっていたため白濁したことが判明した。工事業者は、即時白濁水の排出を停止した。</p> <p>白濁水が流れた排水路において、魚のへい死などの水質異常は確認されていないため、本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

平成30年7月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
7月	20日	油流出	浦川原区虫川地 内	個人宅	灯油 不明	側溝 保倉川	<p>住宅火災に伴い、油が保倉川へ流出したとの通報を受け、市及び関係機関は現場を確認した。その結果、火災現場のホームタンクから灯油が流出し、側溝を通じて保倉川へ流出したことを確認したため、付近の側溝に油吸着マットを設置すると共に、保倉川にオイルフェンスを設置した。</p> <p>8/10までに、側溝及び河川に油膜がないことを確認したうえで、油吸着マット及びオイルフェンスを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

平成30年8月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
8月	11日	油流出	板倉区戸狩地内	事業所	機械油 不明	側溝	<p>側溝に油があるとの通報があり、消防署が現場を確認した。その結果、事業所内の機械油が流出していることを確認したため、発生源周囲及び側溝内に油吸着マットを設置し、被害の拡大を防いだ。</p> <p>8/13、発生源下流の水路や河川を確認したが、油は確認出来なかった。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
8月	16日	油流出	柿崎区柿崎地内	車両	エンジンオイル 不明	側溝、小河川	<p>柿崎区柿崎地内の道路で、交通事故により車両から油が漏れて道路側溝に流出したとの通報を受け、市及び関係機関が現場を確認した。その結果、事故車両からエンジンオイルが流出していたため、現場及び側溝内に油吸着マットを設置し、油の流下を防止した。少量の油は側溝より小河川へ流出したが、河川内では明らかな油膜は確認できなかった。</p> <p>8/17、事故現場と側溝、小河川を確認したが、油膜は確認できなかった。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

平成30年9月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
9月	12日	油流出	板倉区山越地内	農業用倉庫	軽油 不明	側溝、用水路 大熊川	<p>用水路内に油があるとの通報を受け、市及び関係機関は現場を確認し、発生源の探索を行った。その結果、農業用倉庫で軽油を取り扱う際に、不注意で流出させた事が判明した。油は主に用水路を伝って流れたほか、一部は大熊川へ流出したため、下流への被害拡大を防ぐため、用水路内に油吸着マットを設置した。</p> <p>9/13までに、側溝、用水路及び河川に油膜がないことを確認したうえで、油吸着マット及びオイルフェンスを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
9月	7日	油流出	柿崎区柿崎地内	車両	エンジンオイル、ガソリン 不明（少量）	側溝	<p>柿崎区柿崎地内の道路で、交通事故により車両が側溝に転落し、油が漏れて道路側溝に流出したとの通報を受け、市及び関係機関が現場を確認した。その結果、事故車両からエンジンオイル及びガソリンが少量流出していたため、側溝内に油吸着マットを設置し、油の流下を防止した。</p> <p>9/10、側溝を確認したが、油膜は確認できなかった。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

平成30年10月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
10月	16日	塗料流出	上千原地内	事業所	塗料 不明	排水路	<p>排水路の水が白濁しているとの通報を受け市が現場を確認し、集落内道路の排水路の白濁を確認した。発生源を探索した結果、事業所内で塗料を洗浄した際の排水が原因であったため、事業者は水路内の排水を回収した。</p> <p>本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

平成30年11月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
11月	30日	油流出	西田中地内	事業所内の 運搬車両	作動油 約2リットル	側溝 調整池	<p>事業所内のフォークリフトから作動油が漏れ、敷地外の側溝へ流出しているとの通報があり、市及び関係機関は現場を確認した。敷地内の油の処理を行うとともに、側溝を通じて調整池へ入った油を、油吸着マットを用いて吸着した。調整池より下流では、油膜は確認できなかった。</p> <p>12/7、調整池に油膜がないことを確認したうえで、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

平成30年12月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
12月	21日	油流出	三和区川浦地区	車両	エンジンオイル 不明	道路側溝	<p>自動車事故の発生により油が流出しているとの通報を受け、市及び関係機関が現場を確認した。道路側溝内に油膜を確認したため、油吸着マットを設置し油の流下を防いだ。側溝下流の飯田川では油膜がないことを確認した。</p> <p>本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

平成31年1月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
1月	7日	油流出	吉川区道之下地 内	車両	燃料、エンジン オイル 不明(少量)	水路	<p>自動車が水路に落ち油が流出したとの通報を受け、市及び関係機関が現場を確認した。水路内にわずかな油膜を確認したが、下流の玄僧川では油膜がなかった。</p> <p>本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
1月	16日	油流出	柿崎区柿崎地内	不明	不明 不明	米山川	<p>米山川の新田橋付近で油が流れているとの通報を受け、市及び関係機関が現場を確認した。発生源を探索し、柿崎区柿崎(七区)の新米山橋下流側付近からの油流出を確認するとともに、油の流下を防ぐため米山川にオイルフェンスを設置した。</p> <p>1/24、河川に油膜がないことを確認の上、オイルフェンスを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
1月	23日	油流出	稲荷地内	個人宅	灯油 40~60リットル	水路	<p>灯油ホームタンクからの小分け中に灯油を流出させたとの通報を受け、市及び関係機関が現場を確認したところ、個人宅敷地から水路への灯油の流出を確認した。被害拡大防止のため、個人宅敷地及び水路に油吸着マットを設置した。</p> <p>その後、水路に油膜が無いことを確認の上、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

平成31年1月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
1月	25日	油流出	南本町3丁目地内	個人宅	灯油 430リットル	道路側溝、排水 路、青田川	<p>青田川に油が流れているとの通報を受け、市及び関係機関が発生源を探索したところ、個人宅からの灯油の流出が原因であった。道路側溝、排水路及び青田川で油を確認したため、側溝と排水路に油吸着マットを設置し、青田川にオイルフェンスを設置した。</p> <p>1/28、道路側溝、排水路及び青田川に油膜がないことを確認の上、油吸着マットとオイルフェンスを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

平成31年2月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
2月	11日	油流出	南本町3丁目地内	個人宅	灯油 約10リットル	道路側溝 排水路	<p>排水路に油が流れているとの通報を受け、関係機関が発生源を探索したところ、個人宅からの灯油流出であった。原因は灯油ホームタンクからの小分け中の灯油流出であり、流出した敷地内及び側溝の油は油吸着マットで処理した。</p> <p>2/15、道路側溝及び排水路に油膜がないことを確認の上、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

平成31年3月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
3月	19日	油流出	浦川原区顕聖寺 地内	車両	オイル 推定2リットル	水路	<p>自動車事故の発生により油が流出しているとの通報を受け、市及び関係機関が現場を確認した。その結果、水路への油の流出を確認したため、油吸着マットを設置し保倉川への流出を防いだ。</p> <p>その後、水路内に油膜がないことを確認の上、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
3月	28日	油流出	(南田屋新田地 先)	不明	不明 不明	関川	<p>関川に油が流れているとの通報を受け、関係機関が現場を確認し、正善寺川合流点对岸の右岸側に油膜を確認した。</p> <p>その後、上流から新たな油の流下がなかったため、本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>